

おおま

No. 81
岬の光
平成26年5月1日発行
議会だより



議会を傍聴(奥戸小学校6年生)

3月定例議会 主な内容

○平成26年 第1回定例会

P 2～4

○国民健康保険税・下北広域組合一般会計予算

P 5

○2議員が一般質問

P 6～7

○議会傍聴の感想文・編集後記

P 8

平成26年度 当初予算

一般会計予算 39億7,247万9千円の内訳

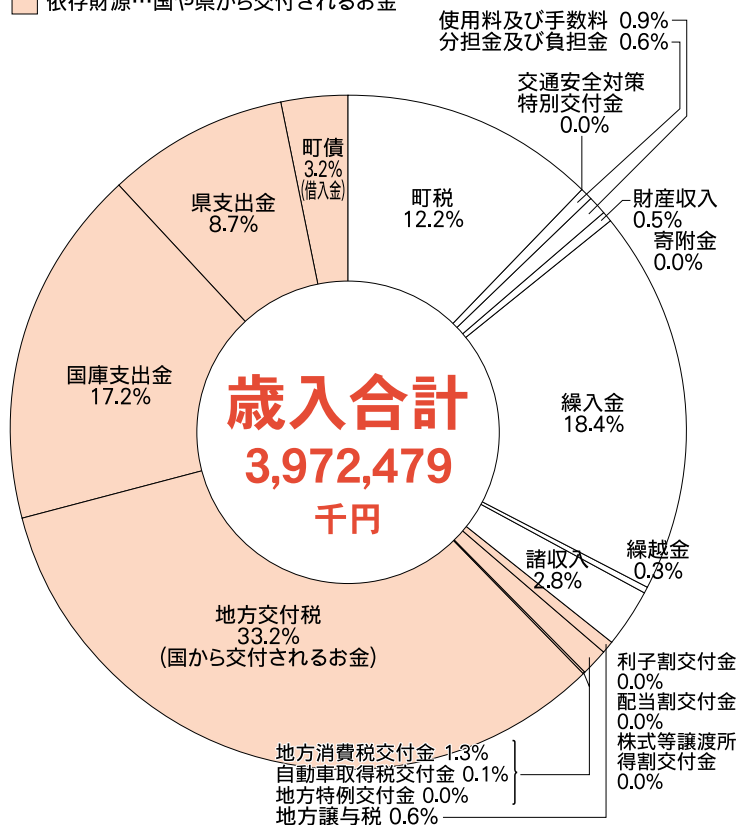
◆歳入

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 町 税	484,724	12.2
2 地 方 譲 与 税	23,534	0.6
3 利 子 割 交 付 金	1,025	0.0
4 配 当 割 交 付 金	522	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	64	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	51,175	1.3
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	5,069	0.1
8 地 方 特 例 交 付 金	1,074	0.0
9 地 方 交 付 税	1,318,610	33.2
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	252	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	23,093	0.6
12 使 用 料 及 び 手 数 料	37,688	0.9
13 国 庫 支 出 金	682,785	17.2
14 県 支 出 金	344,791	8.7
15 財 産 収 入	20,558	0.5
16 寄 附 金	50	0.0
17 繰 入 金	732,001	18.4
18 繰 越 金	10,000	0.3
19 諸 収 入	109,244	2.8
20 町 債	126,220	3.2
歳 入 合 計	3,972,479	100.0

□ 自主財源…町独自での徴収や収納

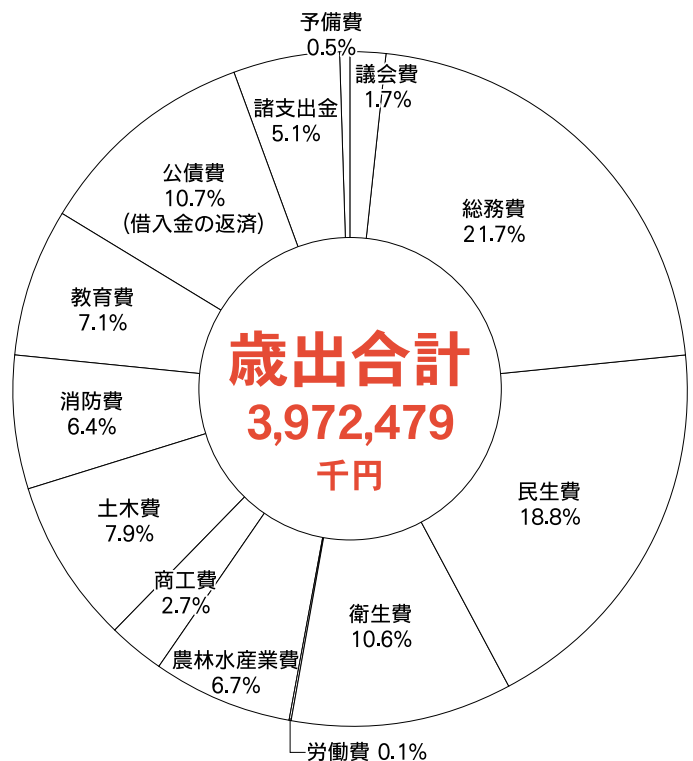
■ 依存財源…国や県から交付されるお金



◆歳出

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 議 会 費	65,698	1.7
2 総 務 費	862,817	21.7
3 民 生 費	746,927	18.8
4 衛 生 費	421,054	10.6
5 労 働 費	5,386	0.1
6 農 林 水 産 業 費	264,783	6.7
7 商 工 費	106,882	2.7
8 土 木 費	313,478	7.9
9 消 防 費	252,529	6.4
10 教 育 費	283,120	7.1
11 公 債 費	425,293	10.7
12 諸 支 出 金	204,512	5.1
13 予 備 費	20,000	0.5
歳 出 合 計	3,972,479	100.0



第1回 3月定例会

平成26年第1回定例会を3月6日開会し、3月14日閉会しました。

本会議に提案された議案20件、同意2件はすべて原案のとおり可決、同意しました。

平成26年度 当初予算

一般会計

歳入歳出それぞれ39億7247万円となり、前年度比7625万円、1.9%の減となる。

歳出の主なるもの

総務費

- 役場駐車場整備工事 601万円。
- 公共用施設維持運営基金積立金1億5366万円。
- 水産振興基金積立金 4375万円。
- 大函丸購入費4899万円。
- 下北広域負担金4685万円。
- 大間・函館航路維持事業費補助金3千万円。

民生費

- 下北広域負担金2016万円。
- 後期高齢者医療療養給付費負担金5614万円。
- 社会福祉協議会補助金2962万円。
- 障害福祉サービス費等給付費7422万円。
- 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療特別会計繰出金合わせて2億4400万円。

衛生費

- 大間保育園運営費、児童手当合わせて1億6377万円。
- うみの子保育園指定管理料5385万円。
- 子ども医療費取扱委託料1980万円。

農林水産業費

- 下北医療センター負担金1559万円。
- 各種検診、予防接種委託料合わせて1255万円。
- 一般廃棄物収集運搬施設業務委託料3754万円。
- 環境衛生費で下北広域負担金7629万円。
- 清掃総務費で下北広域負担金1億3762万円。

商工費

- 鳥獣被害対策実施隊賃金717万円。
- 漁港動力電源工事費815万円。
- 水産振興事業費補助金3210万円。
- 漁港浚渫工事費805万円。
- ブルーマリンフェス

土木費

- 道路維持補修工事費1026万円。
- 奥戸向町防災公園道路測量1200万円。
- 大間橋架替工事費8500万円。
- 下水道事業特別会計繰出金1億1161万円。
- 下北広域負担金2億2566万円。
- 消防団事務委託料1933万円。

消防費

- 再生可能エネルギー等設備設置工事5215万円。
- 幼稚園遊具改修工事費291万円。

教育費

- 元金3億5510万円、利子7018万円の当該年度支払見込額を計上。

公債費

諸支出金

諸支出金

- 大間病院会計負担金2億151万円。
- 予備費2千万円。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ9億8049万円となり、前年度比3821万円、3.8%の減となる。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ5266万円となり、前年度比751万円、16.6%の増となる。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ5億1015万円となり、前年度比2546万円、4.8%の減となる。

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ2億3250万円となり、前年度比856万円、3.8%の増となる。

水道事業会計

○収益的収入及び支出の収入1億6260万円、支出1億5971万円。
○資本的収入及び支出の収入2381万円、支出1億837万円。
資本的収入が資本的支出に対して不足する額8456万円は内部留保資金で補填する。

平成25年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ491万円を追加し、予算総額44億3582万円とした。

国民健康保険特別会計

○国民健康保険特別会計繰出金1534万円を追加。

○健康増進・災害時医療連携ツール整備事業に係る車輛購入費3237万円。

○除雪用重機借上料1千万円を追加。

○予備費では財源調整し3245万円を追加。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ462万円を追加し、予算総額10億7146万円とした。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ93万円を追加し、予算総額4579万円とした。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ23万円を減額し、予算総額5億4933万円とした。

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ91万円を減額し、予算総額2億276万円とした。

水道事業会計

職員の人件費を精査し、支出の営業費用で71万円を減額計上し、収益的支出の総額を1億3735万円とした。

同意

一、人権擁護

委員の推薦
○大間字大間平 17番地80
昭和29年10月9日生



目時浩美氏

※出席議員全員の賛成をもって再任の同意

二、教育委員会

委員の任命
○むつ市中央 1丁目9番16号
昭和28年4月15日生



佐藤桂一氏

※出席議員全員の賛成をもって選任の同意

他の人権擁護委員

- ・大間字 冷水3番地3 古川 一男氏
- ・奥戸字奥戸93番地 佐々木真萌氏
- ・大間字 根田内1番地2 大場 弘子氏

委員の構成

(平成26年4月1日現在)

- 委員長 田村 正美氏
- 委員長職務代行者 宮野 成厚氏
- 委員 高松 大助氏
- 委員 佐藤恵美子氏
- 教育長 佐藤 桂一氏

第1回臨時会 3月28日(金)

財産の取得

一、契約の目的
医療機器類購入

一、契約の方法
指名競争入札

一、契約の金額
2592万円

一、契約の相手
むつ市若松町 2154

(株)シバタ医理科

むつ営業所

所長 成田 哲

県の健康増進・災害時医療連携ツール整備事業として、右記の医療機器類27品目を搭載した多機能型車両は、へき地等における健やか力の向上、健康維持・増進の一層の推進を図るとともに、災害発生時に適切な医療提供を行うためのものです。
※救急車両ではありません。

国民健康保険税・・・今年度から基金(預金)0円に!!

平成24年度確定

滞納総額 約2億8000万円

長年の滞納(297世帯の合計)がこんなに大きな額に膨れあがってしまった。

あくまでも推定だが、25年度以降、増えても減る事はないと思う。

県下40市町村の収納率ランキングでは、ここ数年、最下位が定位置になっている。

それも恥ずかしい事に39位の東通村の収納率84%に10%も少ない73%というダントツの最下位。

驚くことに上記の金額は、町の一年間の国民健康保険税の、当初予算を上回る額まで膨らんでしまった。

赤字補填のため積み立てていた基金(預金)も、25年度で使い切り、ゼロ円に。

今年度から赤字になった場合、町の予算を削り対応する事になります。

長引く経済の低迷。

町の基幹産業である漁業の不振と価格低迷。期待をかけた原子力発電所建設工事の遅れなど、滞納に至る理由は個々にいろいろ考えられるが、国民健康保険は相互扶助の精神に基づき、加入者の病気やけがなどに保険給付を行うことを目的とする制度です。その財源は加入者が納める保険税と、国・県からの補助金などで運営されています。滞納が続くと保険証が発行されません。

町では24年度より、滞納整理を専門に処理する青森県滞納整理機構へ、お願いをして徴収強化が図られる事になりました。最悪のケースは、財産を差し押さえ、公売する事で税の徴収を行う事になります。最悪を回避するため「納税への御協力をお願い致します」。

記 加藤

記 加藤

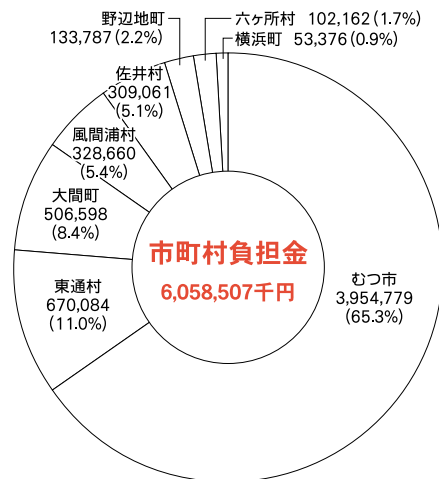
平成26年度実施予定の主要事業一覧

(単位：千円)

事業名	区分	事業費	備考
空調設備改修工事		98,280	下北文化会館
給水給湯設備改修工事		54,000	
直流電源装置蓄電池改修工事		6,670	
蒸気ボイラー改修工事		1,836	
会議室用備品購入		1,944	
ティンパニセット購入		3,000	
はまゆり学園建替工事		395,304	はまゆり学園
新園舎用家具家電購入		8,601	
ジャンボコンテナ購入		1,825	廃棄物施設課
フォークリフト購入		7,297	
むつ衛生センター場内舗装補修工事		1,296	
消防救急デジタル無線整備工事		1,226,617	消防本部
救助工作車購入		161,231	むつ消防署
大湊消防署庁舎建設事業(用地取得等)		67,502	大湊消防署
合計		2,035,403	

※1件 1,000千円以上の工事請負費及び備品購入費等

市町村負担金明細



平成26年度
下北地域広域行政事務組合一般会計予算

平成26年度市町村負担金明細

(単位：千円、%)

	議会費	総務費	文化会館費	民生費	衛生費	消防費	公債費	合計	構成比(%)
むつ市	1,493	63,227	271,596	83,097	1,315,966	1,599,850	619,550	3,954,779	65.3
大間町	299	11,727	-	18,379	162,033	252,939	61,221	506,598	8.4
東通村	299	12,569	-	19,377	170,426	405,254	62,159	670,084	11.0
風間浦村	298	8,190	-	9,247	81,630	196,995	32,300	328,660	5.4
佐井村	298	8,142	-	9,202	81,223	174,041	36,155	309,061	5.1
野辺地町	149	6,397	-	-	87,720	-	39,521	133,787	2.2
横浜町	149	3,157	-	-	33,642	-	16,428	53,376	0.9
六ヶ所村	149	5,282	-	-	66,420	-	30,311	102,162	1.7
合計	3,134	118,691	271,596	139,302	1,999,060	2,629,079	897,645	6,058,507	100.0

※ただし、児童福祉施設利用者負担金を含まない。

一般質問

岩 泉 盛 利 議員



1 大間町の観光は、新船フェリー大函丸就航を契機に、北海道との観光交流を表明しているが、その具体的施策については。

町長答弁

札幌市内のエージェンツや、道内のラジオ番組出演等に加え、札幌駅前通り地下歩行空間で、PRイベントを開催します。

大間町の観光・特産品をPRするため、函館グルメサーカスイベントや、道南地域におけるタブロイド版の新聞広告をし、PRに努めます。

また、津軽海峡・むつ湾広域連携推進会議を立ち上げており、今後、民間団体とも連携を図りながら、津軽海峡圏の活性化を目指しPR等、発信をしていきます。

再質問

北海道側との連携として、東京で大間マグロの試食会や特産品の試食会等のPRなどや、函館空港を利用する外国人旅行者等、特に台湾からの旅行者をターゲットとして、下北県民局の事業を活用しながら誘客に努めます。

再質問

震災前と今現在の観光客の入込、及び、新船導入後の宿泊や飲食・お土産販売などの変化は。

町長答弁

震災以前と比べ震災

以降、観光客の入込は大きく減少しましたが、昨年の調査では震災以前の状況に戻っています。入込数は1・136倍の伸びとなっています。フェリーの利用についても新船効果等もあり、利用客は増えている状況です。

再質問

函館市に訪れる台湾人の観光客は13万人を超えている。この人たちを大間に向かい入れることができれば経済効果は大きい。独自でアピールできないか。

町長答弁

今すぐできるのは、県の事業と連携して進めることです。

町独自については虎尾鎮等も含め、今後考えていきます。

2 大間町が総務省から過疎指定を受けてから4年経過しますが、過疎債を有効活用した

産業振興事業等があるか。

町長答弁

過疎債を利用したのはフェリーの建造費1件、15億4250万円であり、産業振興にも大きく寄与するものと考えます。

再質問

過疎自立促進計画の

対象事業には、地場産業の振興、観光又はレクリエーションに関する施設など、様々な事業が組み込まれているが、大函丸の進水に莫大なお金を注ぎ過ぎたため計画にはあるが実施できなかった。26年度以降も計画が立てられないということか。

町長答弁

26年の事業計画はありませんが、27年から新たな計画策定のため、今準備しているところですが、可能性等を見いだしていきたい。

再質問

観光の拠点となる大間町産業会館の建設計画は29・30年にもないが。

町長答弁

固定資産税を活用した建設を進めさせていただきたい。早い時期での対策等も講じていきます。

3 25年度の大間町の生活保護世帯は141世帯で人数が262名、保護率43・86%ですが、24年度の青森県平均保護率22・35%を大きく上回っており、県下一である。所得向上・健康増進の具体的な対策は。

町長答弁

生活保護費受給世帯が県内でも一番多いのは事実です。23年度の資料によると、その構成は高齢者世帯が39・42%、ひとり親世帯が12・41%、傷病障害者

世帯が37・23%、その他の世帯が10・96%となっています。高齢者及び傷病障害者世帯を合わせた76・65%の方々の就労は非常に難しい。それ以外の方については就労意識を高め、雇用の機会を与えるよう努め、所得向上については、漁業では豊かな海を再生する、農業では、おこっぺいもつこや大間牛のブランド化、地元商店の振興対策として、新年度、プレミアム付商品券の発行を支援します。また、健康・保健については、中学生までの医療費の無料化、他、各種無料化を実施しており、保健協力員による訪問や健康教室の開催など健康づくりの意識の高揚も図っていきます。いずれにしても受給されている方々が従来どおり生活保護を受けずに生活できる環境をつくり、そのための努力をしていきます。

一般質問

野崎 信 行 議員

1 オフサイトセンター建設

その後の進捗状況は。

町長答弁

事業主体が県のため原子力安全対策課に候補地を示しており、県においても建設は立地自治体にすべきであると示しておりますが、国の方針等が定まらないため進んでいない状況です。

2 函館市内まわりの大間町営バス

通院を含めたフェリー利用者への還元のため、大間町民向けバスの運行を考えられないか。

町長答弁

現在フェリーから函館市内に移動するバスはすでに確保されていると認識しています。

町長答弁

町が運行する考えは現時点ではありません。

3 大間海鳥研 研究室の活用

大間町根田内に大間海鳥研究室が開設されています。町主催の講話等ができないのか。

町長答弁

講演等については当事者の意思の確認はもちろんです。教育委員会ははじめ教育関係者の意見を聞きながら今後、教育委員会に検討していただきます。

4 函館市が大間原発差止め訴訟

函館市が日本で初めて、自治体からの原発差し止め訴訟の動きがあります。立地自治体の大間として、函館市に何らかの対策が必要かと考えるが。

町長答弁

基本的には、他の自治体の方針として示されたものについて、町が言うことは、現時点、今後についても意志はありません。

5 お金を引く張る課設置

大間町の財政が厳しい状況にあります。電源立地交付金以外の国・県の補助金を活用した事業を図るべきであり、そのための調査研究すべきと考えるが。

町長答弁

企画経営課をはじめ各担当課で補助制度の情報収集に努めており、今後も現状の組織の中で対応していきたい。

6 GPS搭載避難用具開発

位置を知らせる避難用具搭載について漁協と共同対策すべきでは。

館牧子さん、南明奈さんとかできないか。

町長答弁

本人の同意が得られれば随時、大使としてお願いしたい。

7 電子カルテ

大間病院は電子カルテに移行すべきでは。

町長答弁

下北医療センターの管理運営に関わる問題なので、医療センターの中で今後、議論していきます。

8 原発敷地内1500メートル掘削

700メートル掘削地点で温泉が出たと聞くが。

町長答弁

そういう事実はないと伺っています。

9 大間観光大使の任命

観光大使として、内

12 防災行政無線

に徹底するよう申し入れます。

町長答弁

放送が聞こえないという苦情が多いが。

13 除雪

今後デジタル防災行政無線の整備に向けて計画を進める努力をします。

町長答弁

公共施設周辺の除雪体制が良くないが。幹線道路を優先して実施のため、公共施設の除雪に時間を要しています。平成27年度には除雪機械の購入を検討しています。



奥戸小学校 6年生 議会を傍聴

3月定例会最終日の様子を奥戸小学校6年生13名が熱心に勉強しました。役場見学、町長との懇談会も行い有意義に過ごしたようです。その感想文を下に掲載しました。

心の声

※佐々木穂乃香さん※

町長さんは意見がくると、迷うことなくその意見にこたえていて「すごいな」と思いました。

※山田虎太郎くん※

会議では、全員大間の事を真剣に考えているのが、とてもわかりました。町長さんは、反論に対してすぐに答えていて、大間の事をたくさん知っています。すごいと思いました。

※能戸香純さん※

「大間の未来はこう作れているんだ」と思ったし、私たちが学校でやっている話し合いよりも、とてもスムーズに進んで、だまったりもしなかった。

※菊池瑠愛くん※

真剣に考えて話し合っているみなさんを見てすごいなと思いました。いろいろなこと

が解決されていき、新しく発展していけば、もっといい町になるんじゃないかなと、話し合いを見て感じました。

※能登貴明くん※

議会の人は、しんげんに考えて「ないならなし」と「あるなら議長〇番」と言っていて、とてもすばらしい人たちだなと思いました。

※平田航太くん※

今の大間はどうなのかも話してくれたり、ぼく達が質問とかしてこないのに、ほかのことも教えてくれたり、資料とかをもらって、よく分かりやすかったです。

※中嶋優生くん※

議会場を見せてもらったし、はじめて議会をしているところを見せてもらってとてもうれしかったです。あと議会をしている時ばかりとはちがって、はつきりしているので、ぼくたちもまねしたい

とは思いました。

※岩川健介くん※

議会を見て、すぐ答えたりすぐ発表したりしてすごく参考になりました。ぼくはこの学級の会長なので町長さんのようになりたいです。

※能戸佑希那さん※

議会を見学し、私達の話し合いのペースとは、比べものにならないくらいにはやくておどろきました。そのくらいのパースでない町が成り立たないんだなと感じました。

※岩川真輝くん※

町長さんがいけば、きつと大間はいい町になります。ぼくも大人になったら少しでも手をかせたいいなと思っっています。

※佐藤宗二郎くん※

議会・定例会の見学はとても興味深く見せて頂きました。議会見学は初めてで、自分た

ちの住む大間町を良くするため教育委員会などの様々な問題が話し合われていて、自分も大人になったら、このような仕事にもついてみたいと思いました。

※大久保琉奈さん※

議会見学は勉強になる所がたくさんありました。意見が無い時は、はつきり無いということ。また、意見がある時は、すぐに手を挙げて発表している所などがすごいと思いました。

※新井田蒼汰くん※

議会で、内容はあまりわからなかったけど、大間を良くするための議会だということはおわかりました。議員のみなさんが意見を次々出して、ぼくのクラスの話し合いもそのようになればいいと思います。

〔感想文の中から抜粋 記 宮野〕

編集後記

我が家の庭に水仙の花が咲き始め、桜の蕾もふっくらとなってきました。本州最北の地にも春が来たんですね。

私は、大間の春は4月3日(旧3月3日)を基準と考えております。4月3日は、弁天神社祭で漁師の神様のまじりとされています。今年も、風穏やかで天気も良く最高の弁天神社祭でありました。

7年振りです。弁天島にある本殿に御神楽が奉納でき、合わせて海上安全と大漁を祈願して参りました。(記)竹内

議会広報編集委員

委員長

加藤 正喜

副委員長

千代谷 誠

委員

竹内 弘

野崎 信行

小林 和美

宮野 昭一